



(参考仮訳)

プレスリリース No. 07/186
2007年8月31日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントンDC

**IMF理事会、ドミニク・ストロスカーンおよびヨゼフ・トショフスキーの
IMF専務理事候補への指名について検討へ**

国際通貨基金 (IMF) 理事会は本日、以下の声明を発表した。

「理事会はドミニク・ストロスカーン氏およびヨゼフ・トショフスキー氏の IMF 専務理事候補への指名を受領し、これより正式な選定プロセスを開始する。指名受付期間は8月31日に終了した。

「フランス国籍で、同国の元蔵相であるストロスカーン氏は、欧州連合諸国を代表する複数の理事の総代としてドイツの理事クラウス・シュタイン氏から指名された。チェコ国籍で、同国の元首相および元中央銀行総裁であるトショフスキー氏は、ロシア連邦の理事アレクセイ・モージン氏から指名された。

「理事会は、各候補者をその職歴と資質に基づいて検討する。[\(プレスリリース No. 07/159を参照\)](#) 来る1ヶ月間で、理事会はワシントンDCで候補者の面談を実施した後、各候補者の優れた点について協議、次期専務理事を選定する。」